



6. 事業の進捗状況





6. 事業の進捗状況

1 整備事業のスケジュール

項目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
飛行場設置許可	●							
実施設計調査、モニタリング調査等	■							
土木工事	■							
照明工事		■						
その他工事		■						
供用開始								●

平成17年12月

平成17年度～平成24年度
状況に応じて継続検討

平成18年度～平成24年度

平成25年3月

平成20年度～平成24年度

平成20年度～平成24年度

空港整備事業費などの都合によりスケジュールの変更あり。

事業の進捗状況について説明します。

まず、新石垣空港は、空港本体の工事に加えて、空港周辺緑地整備事業を実施します。

平成17年12月に設置許可を受けて、これまで実施設計・モニタリング調査等を実施しています。今年度からは用地取得を開始し、試験盛土工事を実施しています。

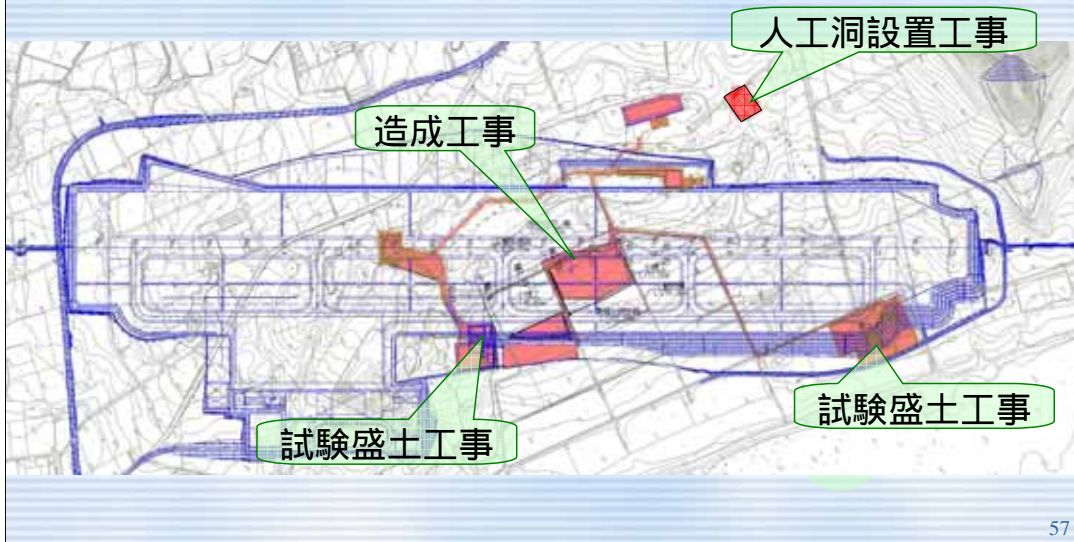
平成19年度からは、本格的な土工事に着手するとともに、関連する国道や農道の付け替え工事及びビオトープ等の工事を予定しています。

平成20年度からは進入灯などの照明工事に着手し、造成工事の進捗に合わせて、舗装工事や庁舎等の工事に着手します。平成24年9月までに工事を完了し、平成25年3月の供用開始を予定しています。



6. 事業の進捗状況

2 工事の状況(H18年度)



57

画面は平成18年度工事の実施箇所を示した図面です。



6. 事業の進捗状況

2 工事の状況 造成工事現況



58

工事については、空港の造成工事におきまして、平成18年10月から試験盛土工事に着手しています。試験盛土工事は、平成19年度からの本格的な用地造成工事の合理的、経済的な施工方法を決定するため、掘削、積み込み、運搬等の施工試験や転圧試験を行うもので、平成19年3月末で95%の進捗となっています。

また、今月に入りまして、来年度の工事の前段となる仮設道路等の工事を契約しています。



6. 事業の進捗状況

2 工事の状況

人工洞設置工事現況

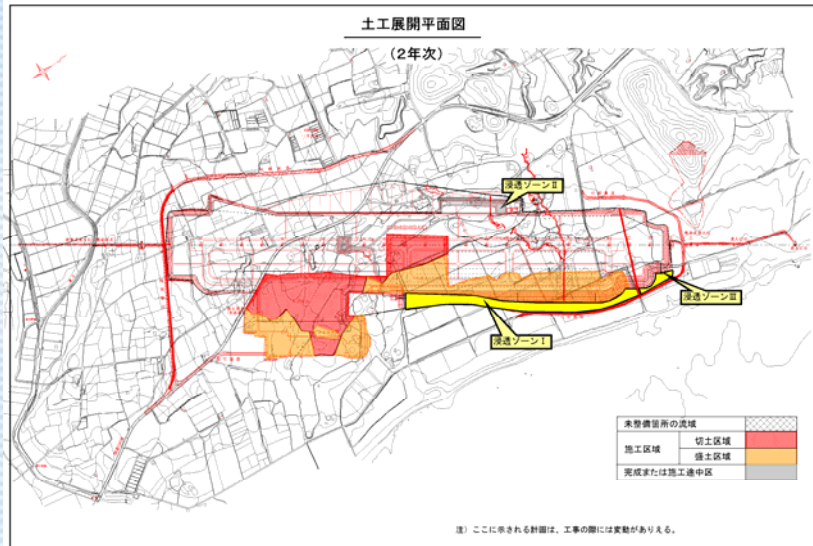


人工洞についても、平成18年10月から設置工事に着工しており、3月末で約90%の進捗となっています。



6. 事業の進捗状況

3 今後の土工展開予定【2年次】

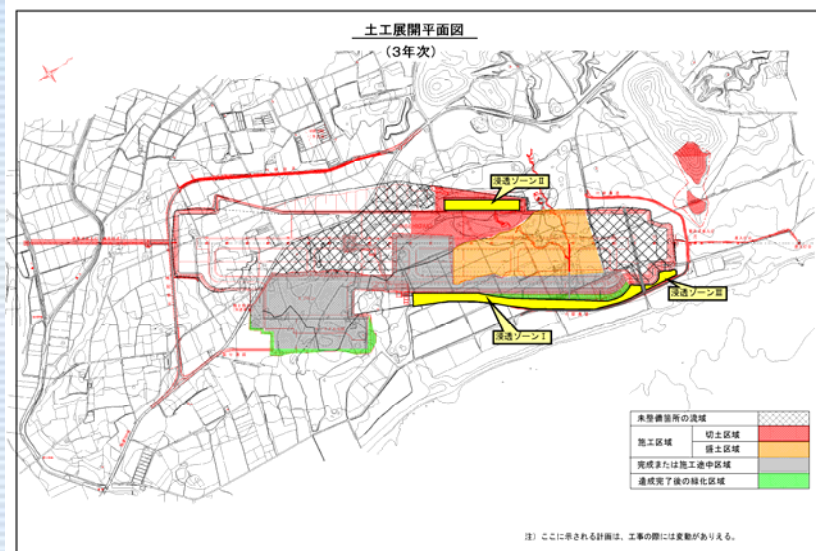


今後の土工事の展開予定としては、画面にありますように平成19年度を2年次としまして6年次までありますが、2年次は空港の中央部及びエプロン付近、浸透ゾーン、浸透ゾーンの掘削をし、空港東側や駐車場付近を盛土する計画としています。



6. 事業の進捗状況

3 今後の土工展開予定【3年次】

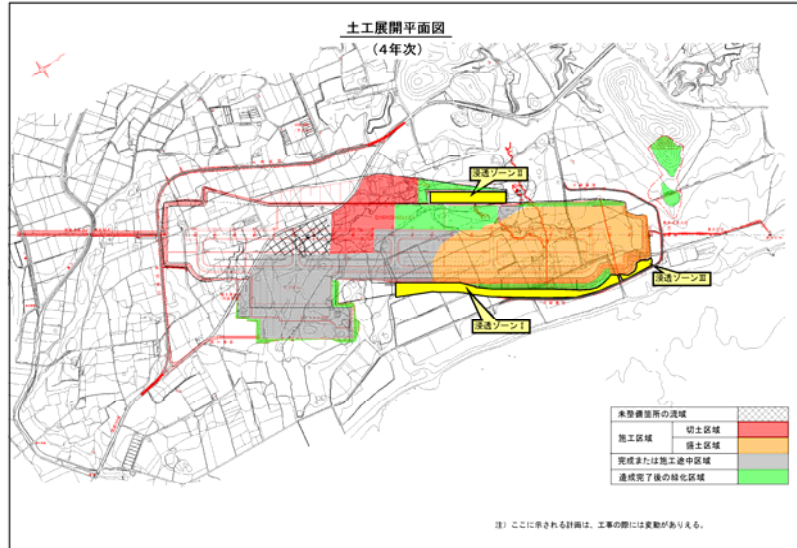


それ以降も画面に示すように、完成したところについては緑化を実施し、空港全体を一気に施工するのではなく、出来るだけ裸地面積が少なくなるように年度ごとの計画を立て、工事を進めていくこととしています。



6. 事業の進捗状況

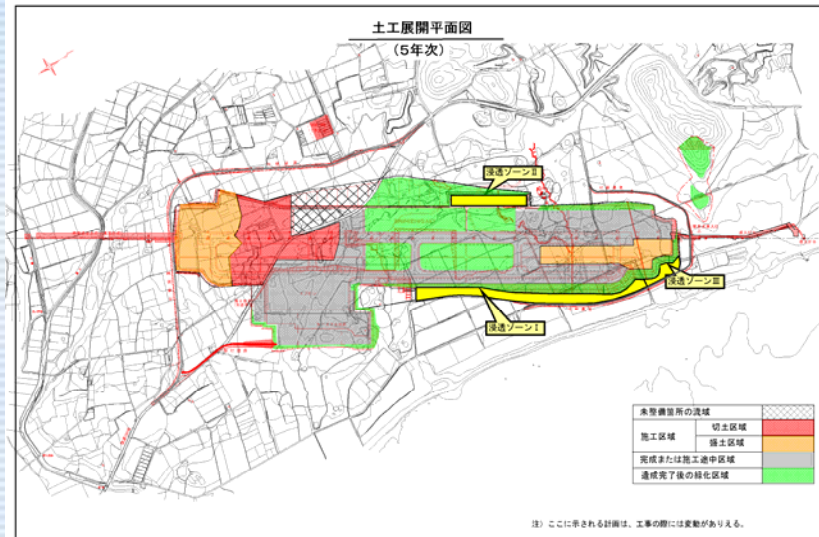
3 今後の土工展開予定【4年次】





6. 事業の進捗状況

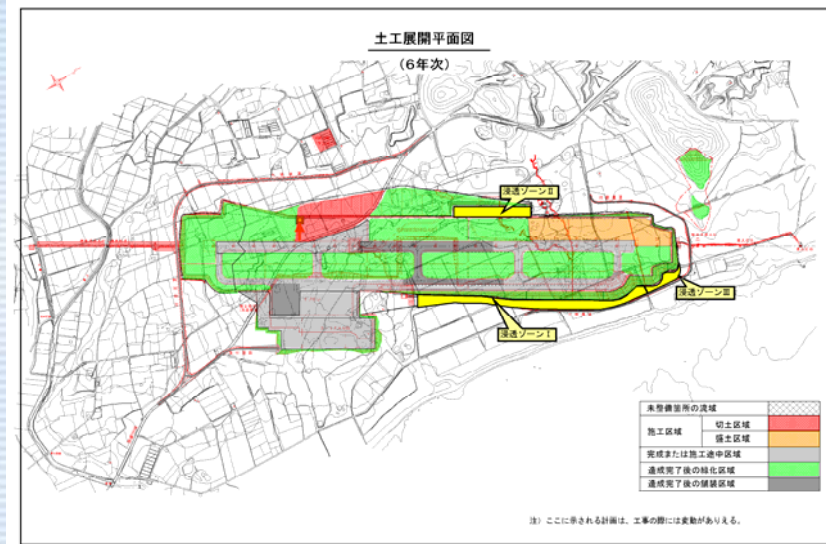
3 今後の土工展開予定【5年次】





6. 事業の進捗状況

3 今後の土工展開予定【6年次】





4 用地取得の状況

平成19年3月27日時点

(1)取得予定面積	約195 ヘクタール
(2)契約済用地面積	約141.3 ヘクタール
(3)取得確実な公的機関所有地面積	約12.4 ヘクタール
(4)契約済用地と取得確実な公的機関所有地の計 ((2)+(3))	約153.7 ヘクタール
(5)用地取得率 ((4)÷(1))	約79%

65

次に用地取得の状況ですが、新石垣空港整備事業地内に土地等を所有する地権者及び関係者に対しての用地交渉は、平成18年の当初から進めており、平成19年度中に全ての用地取得を終えるよう鋭意交渉を進めています。

平成19年3月27日時点での契約実績としましては、約141.3ヘクタールとなっています。

これに、取得が確実な国や県及び石垣市等の公的機関が所有する土地約12.4ヘクタールを加えますと、約153.7ヘクタールとなり、用地取得率は約79%となっています。

沖縄県としましては、本日の事業説明会が終わった後も引き続き任意交渉により合意が図れるよう誠意を持って交渉を続けて参りますので、今後とも地権者及び関係者の皆様には新石垣空港整備事業の趣旨をご理解いただき、用地取得にご協力下さいますよう宜しくお願い申し上げます。